

# いのちの言の葉2013

富山県教育委員会平成25年度いのちの教育総合支援事業

## 「命 見つめて」

射水市立作道小学校4・5年

平成25年6月14・18・25日実施

小矢部市立大谷小学校(平成25年6月3日)でも実施

### 【授業の概要】

講演「今も あらちゃんといっしょ」

(5年生児童の感想) 私のお母さんも妊娠中毒症になったそうです。その話をくわしく教えてくださって、とても心にひびきました。最後の方で、涙が出そうになりました。息子さんを亡くした悲しさ、私もおじいちゃんが亡くなった時、一番泣きました。もうちょっと優しくすればよかったとこうかいしています。でも、こうかいすれば、おじいちゃんも悲しむだろうし、楽しい思い出を想像するようにしています。息子さんを亡くしたのは、それ以上の悲しみだと思えます。息子さんの話をして、色々な思い出を思い出してしまいませんか。とても強い心で、すごいなと思いました。本当にありがとうございました。



(4年生児童の感想) 私は、しょうがいのある人の話を初めて聞きます。しょうがいのある人は、どんなにつらいのか、松下先生の話聞いて、初めてわかりました。あらちゃんは、目が見えなくて、「がんばれ共和国」という所に行っていて、がんばっていたんだなと思いました。脳が真っ黒というのは、私は、しょうじき、こわかったけど、あらちゃんのがんばろうという気持ちが伝わりました。あらちゃんは、弟のすうちやんのことが見たかったのかなと思いました。あらちゃんは、12さいまで、ずっとがんばってきたんだなと思いました。

## 【いのちの先生】

松下 真由美先生

・元小学校教員・学習サポーター

(5年生児童の感想) 今日は、命のお話をしてくださりありがとうございました。私は、3, 239gで生まれました。あらちゃんは722gだったと書いてあったのを見て、とってもびっくりしました。私には妹がいます。妹は3, 210gととてもおぼえやすい数字で生まれました。妹は歩きはじめるのがとてもおそくて、「本当に歩くことができるのかな」とみんなしんぱいしていました。私は「きっと歩けるよ!」とそばでいつも言っていたから、歩けるようになったのかなと思いました。



(4年生児童の感想) あらちゃんは、しょうがいしゃで、一人で食べたり、水をのんだり、立ったりできないのに、生きようとしている気持ちがすごいと思いました。あらちゃんのような、一人では何もできない子どもを、松下先生はいらないと初めは思っていたけど、あらちゃんの気持ちなどをりかいして、あらちゃんはとてもだいじなことから、子どもなんだなときづいた時のやさしい気持ちが、いいなと思いました。松下先生は、少しでもあらちゃんが歩いたりできるように訓練して、あらちゃんを少しでも楽しようとしたいやん気持ちややさしさがいいなと思いました。松下先生は、あらちゃんを笑顔を見ようとしてきたけど、あらちゃんが亡くなったと聞いて、さびしい気持ちになってしまいました。